

# 「原発輸出は犯罪的」

## 都内でシンポ 神学者の渡辺さん批判

シンポジウム「原発輸出問題を考える」  
（原発メーカー訴訟）  
の会主催）が東京都新

宿区の信濃町教会で開かれた。日本キリスト教協議会平和・核問題委員  
会、NNAAJなどが協賛。

「（人間の思想史の中で）原発輸出は犯罪的な計画だ」と批判した。また同会が米GE、日立製作所、東芝を相手に提訴を予定している訴訟について島昭宏弁護士が説明し約百人の来場者に賛同を求め

になっている」とした上で、「原発を輸出する思想は有害なものを外へ持ち出すことで国内の資本が利潤を生む。危険で犯罪的な考えだ」と指摘した。

基調講演で渡辺さんは「原爆や原発の製造は人間の思想史から言って、以前の人間が考へもつかなかったとんでもないことだ。この精神構造の違いを究明することが大きな課題



原発の海外輸出問題などについて話し合われたパネルディスカッション＝東京都新宿区の信濃町教会で

明。さらに「精神的被害を受けたとして国内外から原告に加わってもらい、問題意識を共有したい」と話した。

この後、島さん、渡辺さんのほか、FOEジャパンの満田夏花さん、NNAAJの崔勝久さんらによるパネルディスカッションがあり、来場者と質疑応答した。

（編集委員・土田修）